

NPO法人 のびの会

# 第24回 摂食障害講演会

「摂食障害と共に生きる2024」

2024 **12.22** 日

参加費：会員 1,000円  
一般 1,500円

横浜市健康福祉総合センター 4Fホール  
12:30 ~ 15:30 (12:00開場)

定員：100名  
(事前申込不要)

## Lecture timetable

12:30 ~

基調講演

「何が病を癒やすのか？」

【講師】林 公輔 先生

学習院大学 文学部心理学科 教授

13:35 ~ 休憩

13:45 ~

体験談発表

トークディスカッション

質疑応答

【コメンテーター】中根 潤先生 (下総精神医療センター 副院長)

【司会】武田 綾 (当会心理療法士)

15:30 終演



NPO法人のびの会事務局

tel : 045-787-0889 (火~土 11:00~17:00)

NOBINOKAI <http://nobinokai.or.jp>



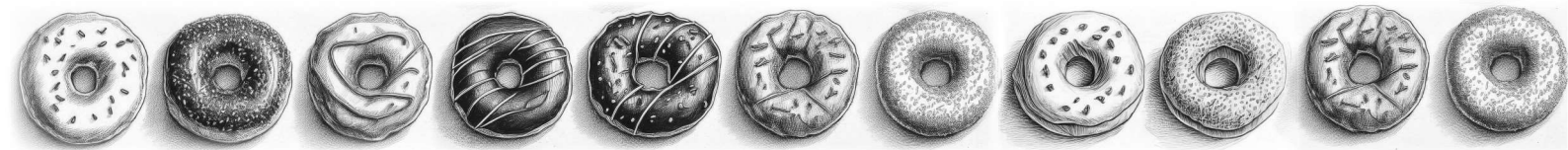
# 講師紹介

## 林 公輔 (はやし こうすけ)

精神科医。医学博士。福井医科大学（現福井大学）医学部卒。慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、特定医療法人群馬会群馬病院等を経て、2016年3月よりInternational School of Analytical Psychology Zurichに留学。2018年4月より学習院大学文学部心理学科准教授、2023年4月より同教授。

## 講演内容

治療にはさまざまな方法がありますが、今回注目するのは「自分の思うようにならないこと」へ身をゆだねることの大切さです。私には摂食障害の方たちが、コントロールできないものまでコントロールしようとして苦しんでいるようにみえます。しかし生きるとは、思うようにならない荒野をみずからの足で歩むことです。コントロールできないものに晒され、傷つき、感染することによって、人は成熟するのです。そのため、過度なコントロール(傷つきを防ぐ行為)は断念されなくてはなりません。そのきっかけとして、入院治療であれば病棟のルールやプログラムに身をゆだねること(自分のルールを持ち込まないこと)が大切になります。私の専門である分析心理学(ユング心理学)では寝ているときに見る夢を扱いますが、夢もまた、自分でコントロールできないものです。本講演では、思うようにならないことに身をゆだねることがありのままの自分を知ることにつながり、そこから本当の回復がはじまるということについて、お話したいと思います。【林 公輔】



## お願い

- ・来場前に検温をお願いします。  
37.5℃以上の場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用と会場での手指消毒にご協力ください。
- ・会場内では他の方と距離を取ってご着席ください。
- ・会場や病院への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

## お問い合わせ

NPO法人のびの会事務局

電話 045-787-0889

(受付時間：火～土曜日 11:00～17:00)

メール [kouenkai@nobinokai.or.jp](mailto:kouenkai@nobinokai.or.jp)

## 会場アクセス

- JR京浜東北線、根岸線「桜木町駅」下車。  
南改札を出て右手にある「野毛ちかみち」を下り、「西出口」(エレベーターあり)からお上がりください。
- 横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」は、そのまま「野毛ちかみち」につながっています。

